

令和4年7月21日

保護者・生徒の皆様へ

県立有馬高等学校
校長 萩原 健吉

夏季休業中における新型コロナウイルス感染症対策の徹底について

盛暑の候、ますますご清祥のこととお喜び申します。平素より、本校教育活動について、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、現在、新規感染者数が全国的に上昇傾向に転じており、今後、人との接触の機会の増加等が予想されること、オミクロン株の新たな系統への置き換わりの可能性もあること等から感染者数が更に増加することも懸念されています。

については、下記のとおり新型コロナ感染症対策および熱中症対策をふまえて教育活動を行いますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

記

【新型コロナ感染症対策】

- ① 学校内外に関わらず、熱中症対策を優先しながら地域の実情に応じた基本的な感染対策（「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの適切な着用」、「手洗い等の手指衛生」、「効果的な換気」等）を徹底する。
- ② 校外から多人数を呼び込むような校内行事（オープン・ハイスクール等）を実施する際には、マスク着用、消毒はもとより体調不調の場合は来校を自粛するなど感染防止対策の徹底を周知する。また、1回当たりの参加人数の制限や座席の間隔を広く取るなどの対応を行う。
- ③ 県外での活動は、実施地域の感染状況や都道府県等の対応、受入先の意向、参加人数、移動方法、活動中に感染者が確認された場合の対応などを十分確認のうえ、感染防止対策を徹底して実施する。
- ④ 部活動の強化合宿等、宿泊を伴う活動は、県内・県外とも、感染症防止対策が確認される宿泊施設に限定する（学校は不可）。

【熱中症対策】

- ① 熱中症が命に関わる重大な問題であることを認識した上で、児童生徒に対して危険性を適切に指導するとともに、保護者等に対しても理解・協力を求めること
 - ② 部活動中、登下校時等、特に熱中症のリスクが高いことが想定される場面では、熱中症対策を優先し、水分や塩分の適切な補給や、児童生徒に対してマスクを外すよう指導すること
 - ③ その上で、身体的距離の確保、近距離での会話を控える、換気の徹底等の対策に加え、部活動については各競技団体等が作成するガイドライン等を踏まえた取組を行うなどの工夫を検討し、必要な対応を取ること
- ※ 様々な理由からマスクの着用を希望する児童生徒に対しても、熱中症対策を適切に講じるよう、配慮すること